

休養着の製作，自作資料の一部

足利市立北郷中学校 青 木 君 江

1 はじめに

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1 OHP, TP | 製作段階図説明 |
| 2 学習ノート | 学習のねらい
生徒の準備するもの
思考のまとめ
評 価 |
| 3 評 価 | 生徒の理解程度
教師の指導法反省 |

休養着の製作指導にあたり，一人一人が自主的に効果的な学習ができるよう試みた。

製作では，やゝもすると，技能の習得に終りがちであるのを反省し，製作における技能の本質をとらえさせるために，知識，理論を裏づけさせることが大切である。また技能を転移させる力をつけるためにも必要であり，これらの本質をとらえさせる方法として，また学習の能率化をはかるためにも機器を活用させる。

行動目標を自主的に学習するということを達成させるため，個々の生徒に学習のねらいをはっきりさせ，思考面を重点に教師自作学習ノートを使用させ，予習，復習の学習の手だてとして活用させ，製作面では能力差もあり，説明，理解しにくい場合，および進度が予定より進んだ場合つぎの作業ができるようTPを生徒が自由に活用し授業をすすめている。

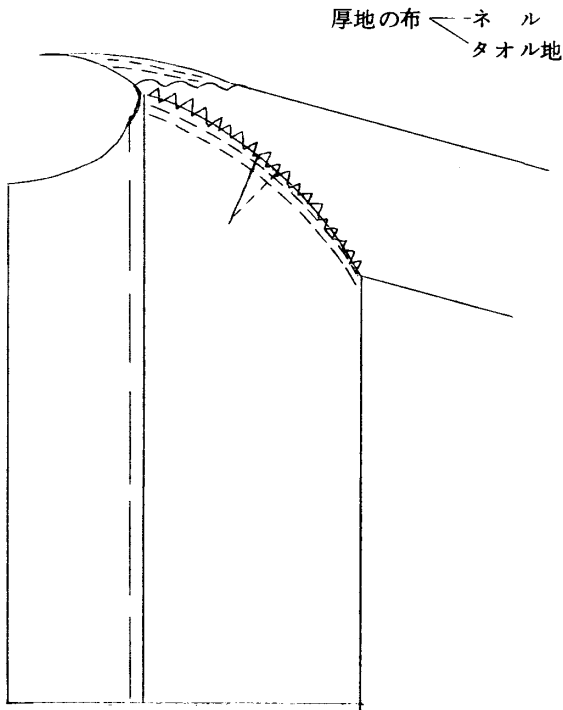
それに関連させて，進度採点をし得点をあたえている。またどの程度理解したか，教師の指導法の反省もふくめてまとめのプリントで評価している。

上記1. 2. 3.の一部を資料としてあげてみました。

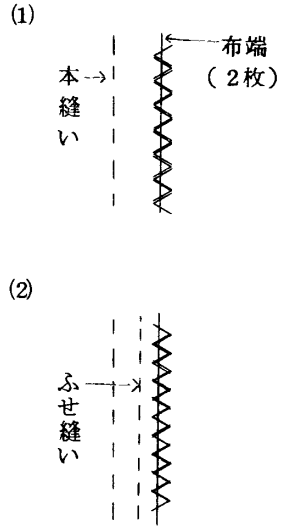
2 資 料

- (1) OHP, TP 製作段階図説明

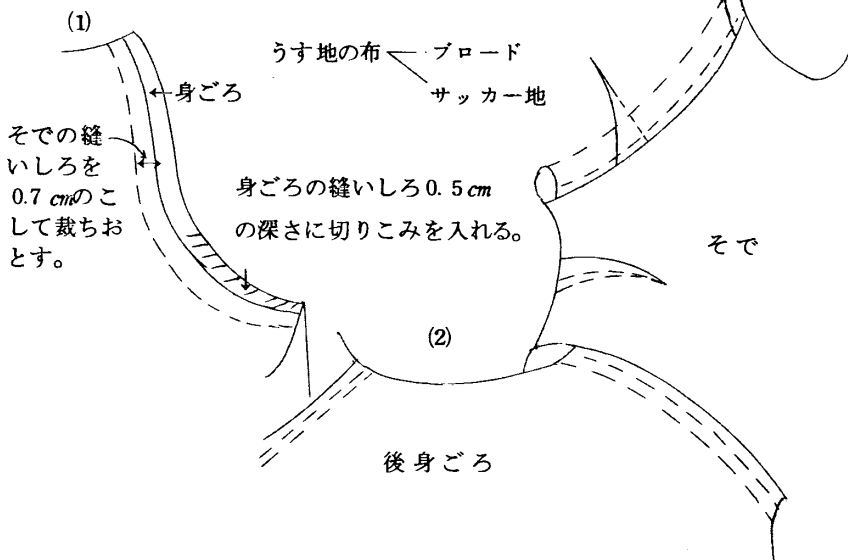
・そでつけ縫いしろのしまつ



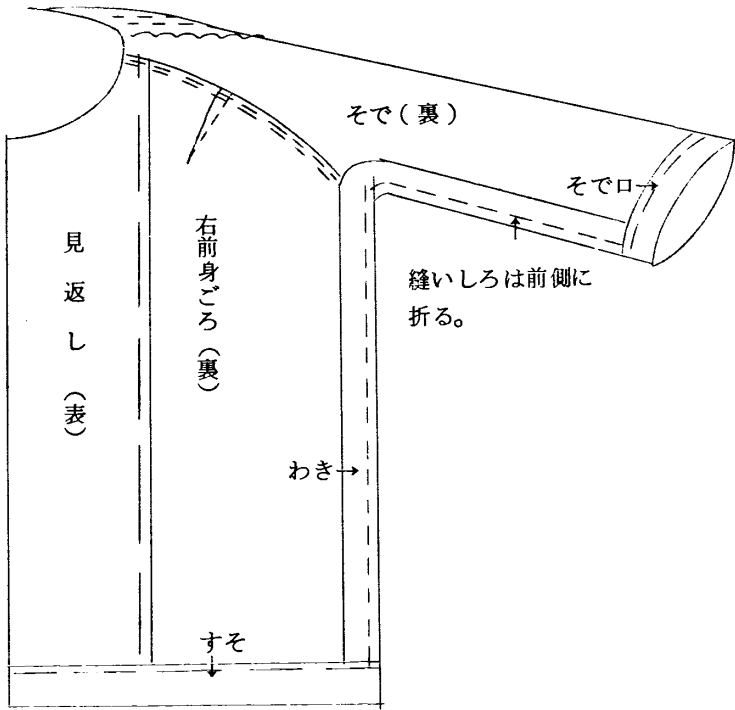
ジグザグ縫い→ジグザグ
ミシン使
用



そでつけ縫いしろのしまつ(折り伏せ縫い)



わき, そで下, そで口, すそ(かりぬい)



- 1 わき, そで下縫い → なみ縫い
- 2 そで口 → おさえしつけ
- 3 すそ → おさえしつけ

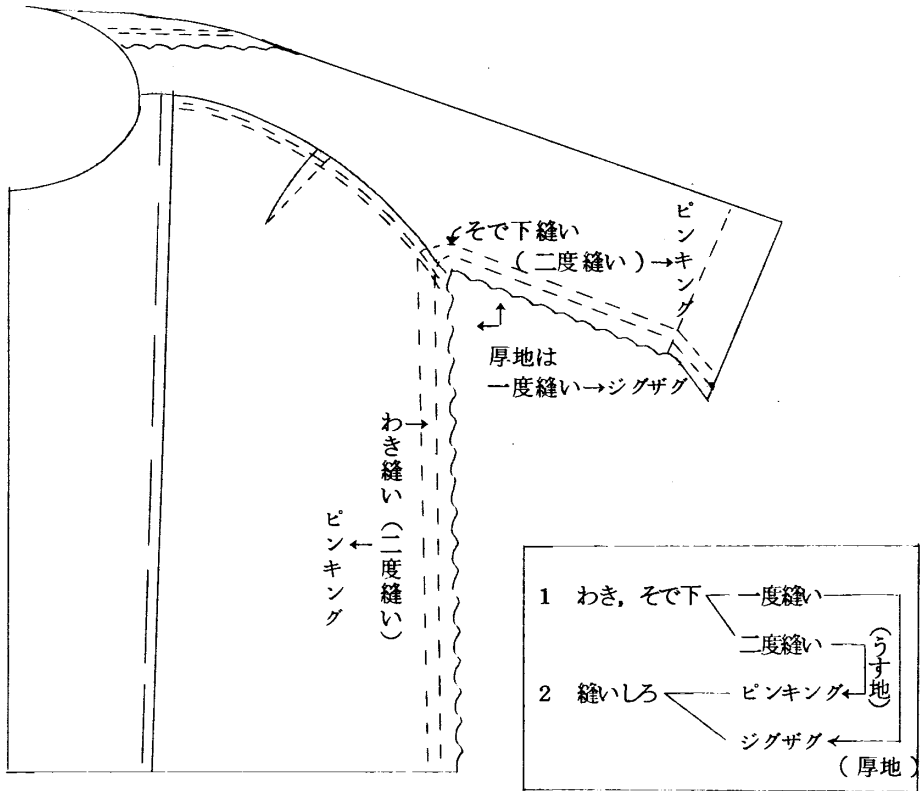
本縫い準備

※ かりぬいをとらなければならないところ

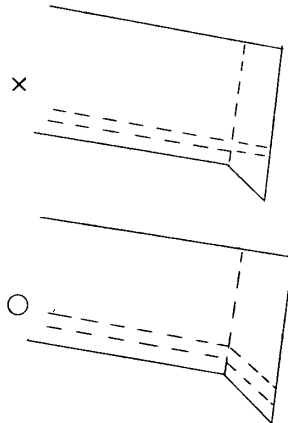
すそ → おさえしつけ

そで口 → おさえしつけ

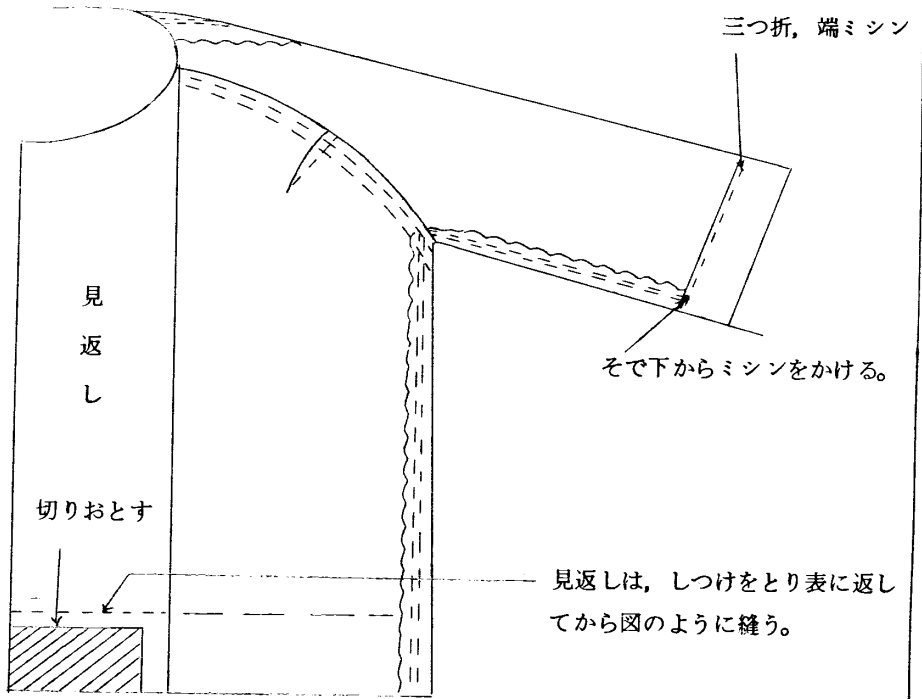
わき, そで下縫い



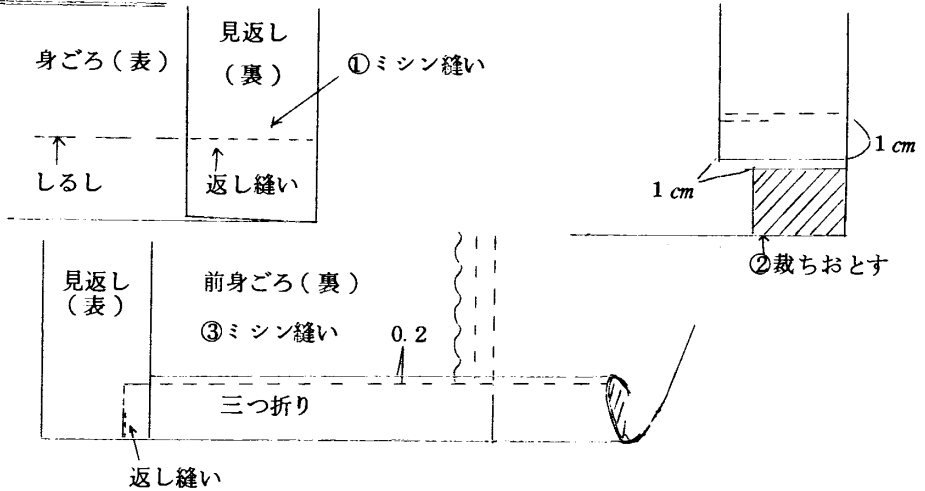
そで下 (そで口)



そで口, すそ縫い



すそのしまつ



(2) 学習ノート

題材	2 パジャマの製作	準	1 型紙
学習のねらい	1 材料の見積もり方を理解しよう。 2 製作の計画をたて、計画的な仕事のすすめ方ができるようにしよう。 3 地直しのしかたを理解しよう。	備	2 製作カード 3 布 4 色鉛筆
<p>4) 材料の見積もり</p> <p>(1) 教科書の裁ち方図をみて、見積もり計算しなさい。</p> <p>① 90 cm幅の場合</p> <hr/> <p>② 72 cm幅の場合</p> <hr/> <p>③ 各自の型紙や布幅に応じて見積もり計算をしなさい。</p> <hr/> <p>④ 各自のデザインに応じて、付属品の見積もりをしよう</p> <p style="text-align: center;">糸 ボタン ゴムテープ</p>			
<p>※ 一方向の柄物の場合は、10%くらい多めに見積もる。 レース、フリルなどギャザーを寄せる必要のあるものはつける寸法の、2～2.5倍用意する。</p>			
<p>5) 製作の計画</p> <p>(1) 各自の製作カードに計画をたてよう。</p> <p>3 製作</p> <p>1) 地直し</p> <p>(1) 地直しのしかたをまとめよう。</p>			

(2) 布地の収縮率を計算しよう。

$$\begin{aligned} \text{収縮率} &= \frac{(\text{水に浸す前の寸法} - \text{浸した後の寸法})}{\text{水に浸す前の寸法}} \times 100 \\ &= \frac{(\quad)}{\quad} \times 100 \end{aligned}$$

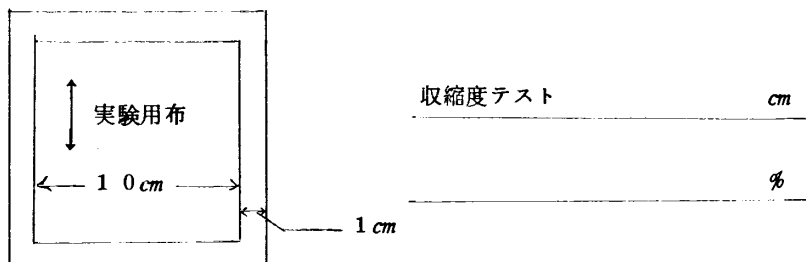
- ※・テストの結果収縮率が1%以上の布地の場合は、あらかじめ水に浸す方がよい。
- ・織物加工（防縮加工、樹脂加工）してあるものは、裏からアイロンをかける程度でよい。
 - ・ネル、タオル地などは、折じわをのばす程度でもよい。

(3) 実 験

地直しをする前と、したあとの布幅や長さの縮みぐあいはどうか。

布端のあまり布を図のように10cm正方形にし、周囲1cm位の余分をみて裁ち、水に浸して乾かし、縦、横とも地直し前の寸法を比較する。

収縮度の多いものは地直しをする。



- 1 材料の見積もりのしかたがわかったか。
- 2 製作計画が適切にたてられたか。
- 3 材料の準備のしかたや、地直しの方法がわかり家庭実習できるか。

(3) 評価(小題目ごとか一時間の授業内容についての確認)

しるしつけ(評価)		組 番				
項 目	学 習 内 容	氏名				
1 しるしつけ用具	しるしつけをするのに何を使いますか。 (用具名記しなさい。)	<input type="text"/> <input type="text"/>				
2 しるしつけの方法	1 チャコペーパーは両面チャコはそのまま、片面チャコは、たて2つに折って <table border="1" data-bbox="379 741 637 909"><tr><td>ア 布と布の間</td><td rowspan="3">に入れる</td></tr><tr><td>イ 布と型紙の間</td></tr><tr><td>ウ 布の下</td></tr></table>	ア 布と布の間	に入れる	イ 布と型紙の間	ウ 布の下	<input type="text"/>
	ア 布と布の間	に入れる				
	イ 布と型紙の間					
ウ 布の下						
2 ルレットの力の入れ方は布の厚さに <table border="1" data-bbox="379 994 637 1125"><tr><td>ア 関係がある</td></tr><tr><td>イ 関係がない</td></tr></table>	ア 関係がある	イ 関係がない	<input type="text"/>			
ア 関係がある						
イ 関係がない						
3 しるしは型紙の <table border="1" data-bbox="379 1210 637 1341"><tr><td>_____ 線</td><td rowspan="2">につけ、特にかどのしるしを正確につける</td></tr><tr><td>_____ じるし</td></tr></table> ※ ポケットつけ位置にもしるしをつける 「 」	_____ 線	につけ、特にかどのしるしを正確につける	_____ じるし	<input type="text"/> <input type="text"/>		
_____ 線	につけ、特にかどのしるしを正確につける					
_____ じるし						

進度採点（本縫い）

2年2組		本縫い進度採点一覧						計	
月	日	項目	前身頃 ターツ	そで 山ターツ	そで つけ	わき、 そで下	そで 口		すそ
21	板橋	○	○						
22	大塚								

きめられた内容が時間内に終わった場合は○印をつけ得点となる。

2 おわりに

被服製作では、技術を習得させることが目的であるが、単に技術習得だけでなく、なぜそのようにしなければならないのかといった理由を考えさせ、簡単な実験を通してながら授業をすすめ、少しでも意欲をもたせ、好んで学習するような指導法を考えたい。それと同時に少しでも実生活に役立つことを希望する。

評

筆者は被服製作の指導が技能の切り売りに終始しないよう、技能の裏づけとなる知識・理論を指導過程に位置づけた学習ノートを作成しており、さらに、教師の説明だけでは、理解させづらい製作技能についても、製作段階を図解したTPを自作しています。

このように、技能面の指導過程において“ねらい”を明らかにして、技能のうらづけを大切に指導過程に組み込むことは、技能そのものの定着をよくするとともに、生徒が同類の事象に遭遇したときに、大きく転移する力となりましょう。また、自作の製作段階を図解したTPも教科書より大きく解りやすいので、進度差の大きくなりがちな作業学習時には、教師の指導の代役もかなりつとめられましょう。その上、一つの指導過程ごとに“評価問題を活用している。”これは、学習の成立者と不成立者を明らかにでき、不成立者に対する再指導が可能になり、指導の改善となります。

このような実践を一教師のものにとどめておかないで、少なくとも足利地区の技術家庭科担当者に提示し、多くの英知を集めて細部まで検討し、さらに改善して多くの先生方が活用できるようなあり方を期待しております。